

梅雨空の中、ソルダム(すもも)が豊作です！

こどものもりの畑には、キュウリやナス、ピーマンやさやいんげん等と一緒に、大きく育った木、「ソルダム(すもも)」があります。

今年初めて、たくさんの実がなり、枝がしなり地面に付くほどに「実」がなりました。緑色から深紅色と変わっていき、酸っぱさからだんだん熟れていき、食べごろになってきましたが、雨などでポロポロと落ち始めてきています。園では、子どもたちと実を採って洗って、クッキングコーナーでジャムづくりや



ジュース用に作っていますし、出来上がったジャムをリッツにのせて食べたりと手作りの味を楽しんでいます。

そこで、本日ご家庭へのプレゼントとして、少しですが持ち帰ることとしました。味は子どもも大人も好みがあるかと思いますが、こどものもりで実った味ですので、思い出の一つとして楽しんでいただければと思います。

明日から夏の季節の7月です！

「こどものもり」で願っている2期目(6月・7月・8月)の願いは「楽しいなかま」です。

今まで優しくお世話されていた家庭から新しく園の先生方との生活です。初めての体験から少しずつ「安心して・ホットできる生活」を通して、異年齢の子どもたちの中で、教えあったり、真似をし合いながらお互いが居心地の良い生活になっていけるような体験が始まってきています。

ご家庭でも、お仕事などで大変でしょうが、子どもの育ちの基礎体験が身に付いていけるよう、応援をお願いいただければと思っています。

《子どもたちの生活から！》

年中組さんは「ワクワクハッピーデー」(7/15)に向けて、裏の古利根川の土手を散歩したり、恐竜公園まで歩いて行ったりと、園の外へ散歩に出かける体験をしています。

普段、車での移動や登降園が多い子どもたちの様で、二人で手をつないで歩くことの難しさ(自分勝手に速く歩いて行ったり、ゆっくり過ぎたりしてしまい、お互いに気遣いながら歩くことの難しさ)を感じていました。本日も「みどりの丘公園」までバスで行き、バスの乗り降りやバス内での過ごし方をバスコース子どもたちに見本を見せてもらいながら学び、公園内を散歩したり、山に登ったりしてきました。これからも自分の足でできるだけたくさん歩く楽しさを経験していく予定です。子どもたちの話題にも出ていることと思いますが、ご家庭でも休日には子どもたちと散歩する中での発見を楽しんでいただきたいと思います。



年長組さんはこすもす組さんと一緒に本日は第三公園へ行きました。昨日、年長だけの集まりの中で、「こすもす組さんと一緒に公園へ行こうと思うのはどうかな?」と問いかけ、小グループに分かれて話し合いをしました。「道路の真ん中へ出ていかないように、歩くときは小さい子を内側にしてあげてあるく!」など色々と意見が出ました。小さい子への心使いをしながら歩くこと、公園で一緒に過ごすことでの異年齢での心づかい等の体験をすることで、優しい思いやりや気配りなどお互いへの配慮の大切さ等、異年齢での生活を通してこれからも楽しんでいきたいと思っています。

その他さくら組さんやちゅう・こす組さんも、大きい子たちとの出会いやお手伝いをしてもらったり、真似をしながら、少しずつ自分だけの満足から、他の子と一緒にいることの楽しさを感じ合っています。ご家庭でも温かな応援をよろしくお願いいたします。